



資産形成の学校

出口戦略の基本講座

出口戦略の 4つの種類を解説

Q

投資を続けていって、
実際に売却するときに
どんな方法があるの？

A

4つの方法があります。

①定額②定率③定口

④期間指定＋定口

4つの取り崩し方法のメリット・デメリット

取り崩し方法	メリット	デメリット
定額	・取り崩し金額が一定でわかりやすい ・将来や生活の予想が立てやすい	・取り崩しの初期に大暴落がくると資産寿命が短くなる ・定率取り崩しよりも資産が早く減る ・毎年の利回りの並び方（収益率配列のリスク）で元本が大きく減ってしまう
定率	・収益率配列のリスクを回避できる ・資産が長持ちする	取り崩し金額がかわる上に減少する
定口	・収益率配列のリスクを回避できる ・資産が長持ちする	・取り崩し金額がかわる上に減少する ・定額や定率よりもさらにわかりづらい ・自動で取り崩しできるサービスがない
期間指定 +定口	最終的なゴールで資産を0にできる	資産が0になるので長生きリスクがある

運用せず取り崩し

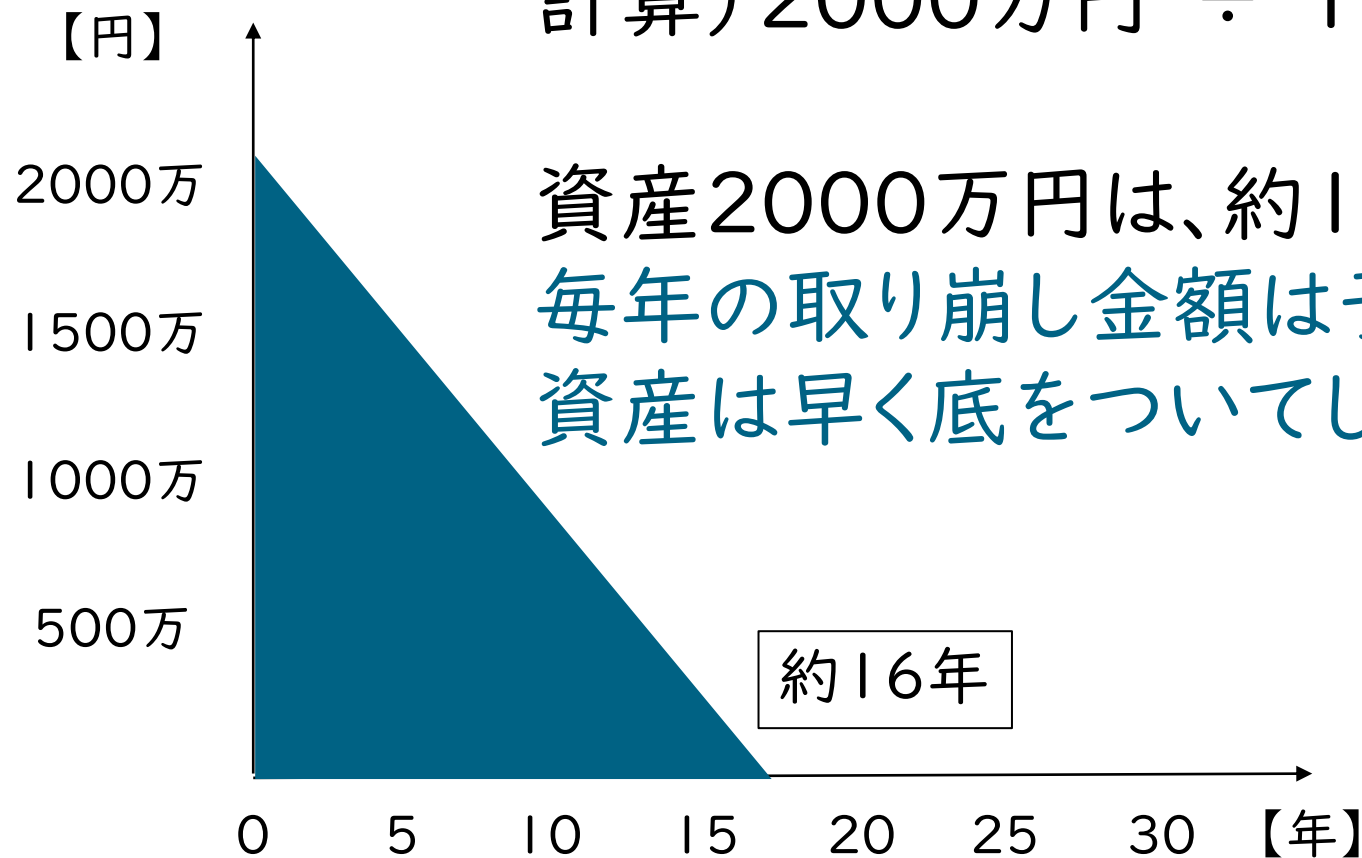
例) 資産の取り崩しシミュレーション

ケース①

資産2000万円を運用せずに、毎年120万円の定額取り崩しの場合

計算) $2000\text{万円} \div 120\text{万円} \div 16.7\text{年}$ なので、

資産2000万円は、約16年8カ月で資産が底をつく
毎年の取り崩し金額は予想しやすいけれど、
資産は早く底をついてしまう...

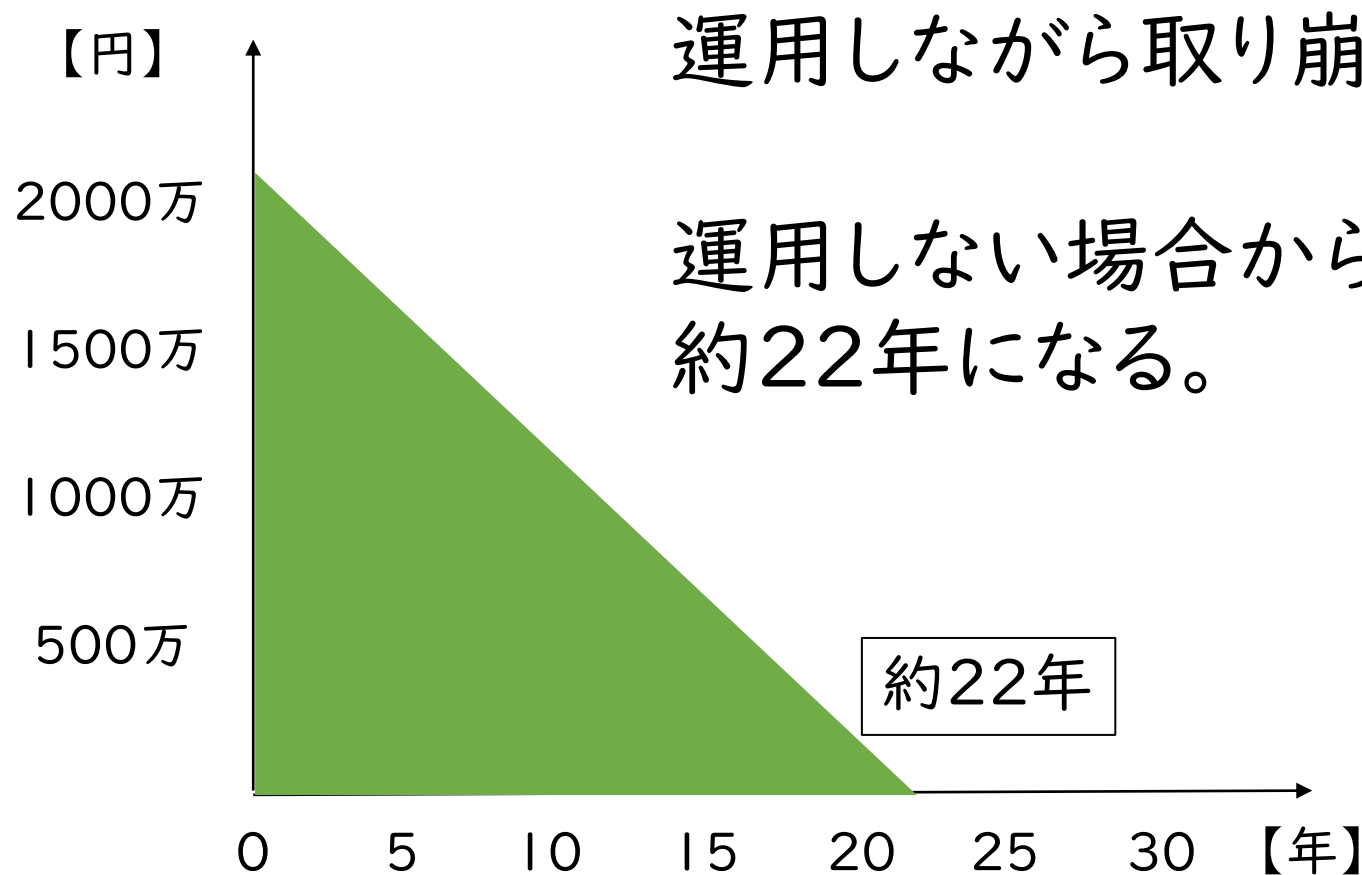


運用しながら
定額取り崩し

例) 資産の取り崩しシミュレーション

ケース②

資産2000万円を年利3%運用しながら、毎年120万円の定額取り崩しの場合



運用しながら取り崩す方法であれば、

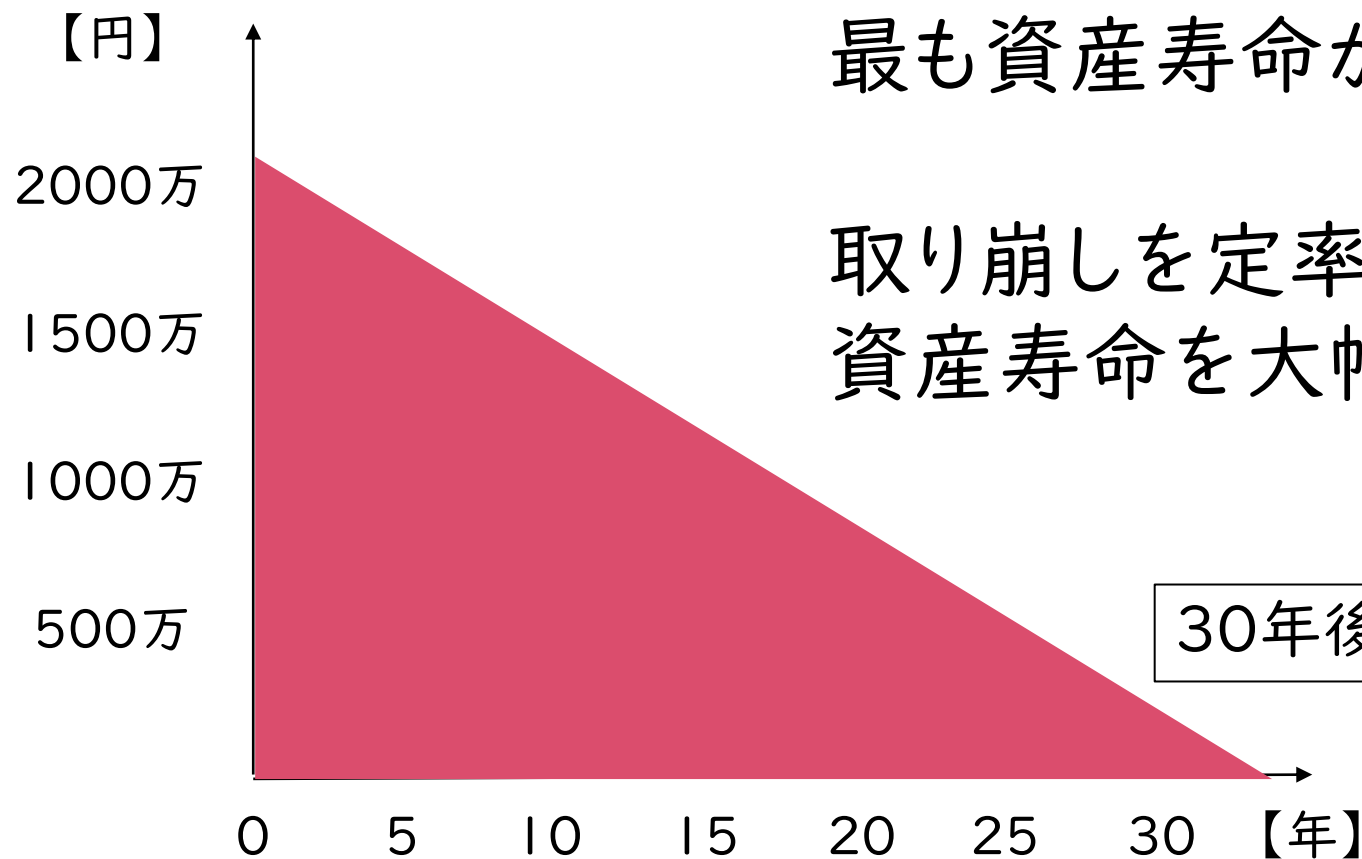
運用しない場合から約6年資産寿命が延びて、
約22年になる。

運用しながら
定率取り崩し

例) 資産の取り崩しシミュレーション

ケース③

資産2000万円を年利3%運用しながら、毎年資産の6%定率取り崩しの場合



最も資産寿命が延びる取り崩し方法

取り崩しを定率取り崩しにすることにより、
資産寿命を大幅にのばすことに成功

30年後も約760万円

4つの取り崩し方法のメリット・デメリット

取り崩し方法	メリット	デメリット
定額	・取り崩し金額が一定でわかりやすい ・将来や生活の予想が立てやすい	・取り崩しの初期に大暴落がくると資産寿命が短くなる ・定率取り崩しよりも資産が早く減る ・毎年の利回りの並び方（収益率配列のリスク）で元本が大きく減ってしまう
定率	・収益率配列のリスクを回避できる ・資産が長持ちする	取り崩し金額がかわる上に減少する
定口	・収益率配列のリスクを回避できる ・資産が長持ちする	・取り崩し金額がかわる上に減少する ・定額や定率よりもさらにわかりづらい ・自動で取り崩しできるサービスがない
期間指定 +定口	最終的なゴールで資産を0にできる	資産が0になるので長生きリスクがある